

## 報告書の作成にあたって

参議院は、平成15年7月28日の参議院改革協議会報告書の提言「ODA経費の効率的運用に資するため、新たにODAに関する専門の調査団を派遣すること」等に基づき、平成16年度からODA調査のための議員派遣を行っている。

第19回目となる令和7年度のODA調査派遣は、東アジア地域としてインドネシア共和国、東ティモール民主共和国班、大洋州地域としてミクロネシア連邦、パラオ共和国班、中東・北アフリカ地域としてエジプト・アラブ共和国、トルコ共和国班、サブサハラ・アフリカ地域としてジブチ共和国、ケニア共和国班の4班で実施された。

本報告書は、上記4地域に派遣された議員団の調査結果を1冊に取りまとめたものである。各派遣団に1章を割り当て、参加した議員の総意により、調査の概要及び所見を記述している。

報告書は、過去の取扱いと同様に、議員各位に配付するとともに、関係諸機関等に送付し、また、本院ホームページ等を通じて、広く一般に公表することとした。

厳しい財政事情の中、政府開発援助の一層の効率化が図られるよう、本報告書が関係委員会等における国政審議に活用されることを切望するものである。

最後に、今回のODA調査派遣に当たり、内外の関係機関等の方々には大変なご協力を頂いた。ここに改めて感謝の意を表したい。

令和8年6月記

### 参議院政府開発援助調査派遣団

インドネシア、東ティモール班	団長	石田昌宏
ミクロネシア、パラオ班	団長	古川俊治
エジプト、トルコ班	団長	大家敏志
ジブチ、ケニア班	団長	生稲晃子